

Ⅲ. 経 済 学 部

経済学部の履修について〔経済学科・経済ネットワーク学科・経営学科共通〕

卒業に必要な
最低単位数

本学に4年（8学期）以上在学し、所定の単位を修得すれば卒業と認定し、経済学部にあつては、経済学科と経済ネットワーク学科は学士（経済学）、経営学科は学士（経営学）の学位が授与される。ただし、1～4年次の各年次に1学期以上在学することが必要である。卒業に要する単位数は下表のとおりである。

学 科 授業科目	経済・経済ネットワーク・経営学科	備考
教養総合科目	36 単位以上	
専門教育科目	64 単位以上	
合 計	124 単位以上	

注) 各学科の履修規程に基づいて、教養総合科目、専門教育科目から上の表のとおり単位を修得し、合計 124 単位以上修得すること。

進 級 条 件

進級の時期は各年度の始めとする。進級するには、各年次において1学期以上在学することが必要である。また、1年次から2年次への進級には卒業に要する単位で次の条件を満たしていなければならない。

学部共通必修科目 1 科目 2 単位以上を含めて 10 単位以上を修得すること。

さらに2年次から3年次への進級には2年次終了までに3学期以上在学し、卒業に要する単位で次の条件を満たしていなければならない。

教養総合基礎科目群の必修外国語 4 単位、学部共通必修科目 3 科目 6 単位を含む 34 単位以上を修得すること。

履 修 規 程
(受講キャンパス)

【1 年 次】
教養総合科目の必修外国語は週 1 回横浜たまプラーザキャンパスで受講するが、それ以外の科目は両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。

【2・3・4 年次】
2 年次の教養総合科目の必修外国語は渋谷キャンパス昼開講時間帯で受講するが、それ以外の科目は両キャンパスのすべての時間帯で受講できる。
なお、履修規程の変更がある場合は掲示する。

コースの選択

コースの選択は3年次前期の履修登録の際に行う。この際に登録したコースが最終決定となり、その後の変更は一切認められない。ついては、1・2年次にコースの仮登録をする際も、3年次にどのコースに決定するか十分に考えて履修登録すること。また、1・2年次から開講されるコース別選択必修科目もあり、系統履修を必要とする科目（その履修科目の前提科目が修得済みであること）もあるので注意すること。

年次別履修単位
制限 (CAP 制)

年次別に登録できる単位数が制限されているので、年次別の枠を超えて履修することはできない。(P4 参照)

1. 経済学 科

経済学科には、「経済の歴史と理論」「日本の経済システムと政策」「グローバル経済」の3コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

経済の歴史と理論コース

「なぜ不況があるのか」「不況から脱出するにはどうすべきか」これらは現在でも難問である。だが、まさに経済学はこうした難問に立ち向かってきた。そうした中で生まれたのが、経済や社会の仕組みを体系的に解明するための分析道具、つまり「経済理論」である。一方、経済学は「歴史科学」でもあり、経済や社会がどのような歩みを経てきたかを解明し、その歩みの過程で生まれたさまざまな「思想」を研究する。このコースでは、理論を横系に、歴史と思想を縦系にしながら、現代の日本や国際社会が直面する経済的諸問題に対する深い洞察力を養成する。

日本の経済システムと政策コース

21世紀を迎えた日本経済は、さまざまな問題に直面している。戦後から続いてきた経済システムそのものが根底から問い直されようとしているのである。このコースは、今日の日本経済が抱える課題を財政・金融・労働などの諸側面から分析し、政策のあり方を考究する。グローバル経済の中で日本経済の国際的位置を理解するためには、諸外国の経済システムとの比較という視点も不可欠である。

グローバル経済コース

現代の経済・社会は、地球全体がひとつの経済システムとして連動している。多くの日本企業が国際的に事業展開し、いまや「外貨預金」は家計にとっても身近なものとなった。私たちのくらしはグローバル経済のなかにしっかりと組み込まれている。このコースでは、経済のグローバル化がもたらす諸問題の解明を目指す。それは、日本経済を国際的視野で見直すことでもある。

カリキュラムの構成と履修方法

専門教育科目	学部共通科目	必修科目	3科目6単位	64単位	所要単位を超えて修得した単位は、自由科目40単位に算入 次頁以下の表 ☆印科目の中より
		選択必修科目	2科目4単位 ^{注1)}		
	学科基礎科目	選択必修科目	3科目6単位		
	専門基本科目	コース別 選択必修科目	4科目8単位以上		
	学部共通科目				
	学科基礎科目				
	専門基本科目 専門応用科目 専門関連科目	自由科目	40単位 ^{注2)}		

注1) 学部共通科目のうち「基礎演習 B」は入学年度の後期のみ履修できる（次頁カリキュラム表参照）。この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務づけている。従って学生が履修登録をする必要はなく、全ての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習 A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習 B」を履修できないが、「基礎演習 B」の登録は解除しない。そのため当該時限にほかの科目を履修登録することはできない上、評価は「R」となるので、「基礎演習 A」は極力修得すること。

注2) 次頁以降のカリキュラム表にある「演習 I」から「サマーセミナー（演習 III）」までの演習科目は、募集期間に「演習 I」（編入生の場合は「演習 II」）に応募して合格した学生のみ受講できる。また合格した「演習 I」または「演習 II」の担当教員が開講する科目しか受講できない。教員によって開講形態は異なるが、開講する科目は年度ごとに一括して履修登録される。

	授業科目	開講	単位	開講学年				コース			備考
				1	2	3	4	経済の歴史と理論	日本の経済システムと政策	グローバル経済	
学部共通科目	日本の経済	前後	2								3科目6単位(必修) 1年次での履修登録必須。「基礎演習A」を修得済であること。入学初年次のみ履修できる。 「コンピュータと情報A」を修得済であること このうち2科目4単位以上
	コンピュータと情報A	前後	2								
	基礎演習A	前後	2								
	基礎演習B	後期	2								
	コンピュータと情報B	前後	2								
	情報システムの基礎	前後	2								
学科基礎科目	会社入門	前後	2								「経済統計の見方」を修得済であること このうち3科目6単位以上 「世界の経済」を修得済であることが望ましい
	世界の経済	前後	2								
	社会経済学入門	前後	2								
	統計学	前後	2								
	経済理論入門	前後	2								
	経済史の基礎	前後	2								
	経済統計の見方	前後	2								
	財政の基礎	前後	2								
	金融の基礎	前後	2								
	現代日本経済	前後	2								
専門基本科目	国際経済	前後	2								「経済理論入門」を修得済であることが望ましい 「経済理論入門」を修得済であることが望ましい を付してあるコース別指定科目より 4科目8単位以上を修得すること 「金融の基礎」を修得済であることが望ましい 「財政の基礎」を修得済であることが望ましい 「財政の基礎」を修得済であることが望ましい 「金融の基礎」を修得済であることが望ましい 「世界の経済」を修得済であることが望ましい
	日本の経済思想	前後	2								
	経済原論	前後	2								
	マクロ経済学	前後	2								
	ミクロ経済学	前後	2								
	経済学	前後	2								
	近代経済学の歴史	前後	2								
	社会経済思想	前後	2								
	日本経済史	前後	2								
	近代日本経済史	前後	2								
	西洋経済史	前後	2								
	近代西洋経済史	前後	2								
	日本経済と政策	前後	2								
	日本の金融システム	前後	2								
	地域と行財政	前後	2								
	公共部門と財政	前後	2								
	産業組織論	前後	2								
	労働経済	前後	2								
	日本の中小企業	前後	2								
	国際通貨と国際金融	前後	2								
専門応用科目	地域経済統合	前後	2								「経済統計の見方」を修得済であること 「社会保障の基礎」を修得済であることが望ましい テーマが異なれば複数履修可
	国際経営	前後	2								
	開発経済	前後	2								
	アメリカ経済	前後	2								
	E U 経済	前後	2								
	アジア経済	前後	2								
	社会保障の基礎	前後	2								
	計量経済学	前後	2								
	リスクと保険	前後	2								
	医療の経済	前後	2								
	雇用と社会政策	前後	2								
	農業経済	前後	2								
	地域と経済	前後	2								
	少子高齢社会と社会保障	前後	2								
証券投資分析	前後	2									
環境経済の基礎	前後	2									
環境と経済	前後	2									
企業活動と環境	前後	2									
ベンチャービジネス	前後	2									
消費者主権の経済学	前後	2									
消費情報教育	前後	2									
経済学特論	前後	2									

次ページに続く

授業科目	開講	単位	開講学年				コース			備考
			1	2	3	4	経済の歴史と理論	日本の経済システムと政策	グローバル経済	
福祉社会と情報	前後	2								
経営理論入門	前後	2								
現代の企業経営	前後	2								
簿記と財務報告A	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること
簿記と財務報告B	前後	2								
財務会計	前後	2								
経営情報の開示	前後	2								
企業問題入門	前後	2								
経営管理	前後	2								
経営戦略の基礎	前後	2								
経営組織	前後	2								
企業財務の基礎	前後	2								
人事管理	前後	2								
マーケティング	前後	2								「マーケティングの基礎」を修得済であることが望ましい
コーポレート・コミュニケーション	前後	2								
流通システム	前後	2								
財務諸表分析	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること
応用財務会計	前後	2								「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること
原価計算	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること
予算管理	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること
コンピュータ会計	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること
公会	前後	2								
フィールドワーク入門(企業)5)	前後	2								
フィールドワーク(企業)6)	通年	4								「フィールドワーク入門(企業)」を修得済であること
フィールドスタディ入門(企業)5)	前後	2								
フィールドスタディ(企業)6)	通年	6								「フィールドスタディ入門(企業)」を修得済であること
経営特別演習	前後	2								
会計特別演習	前後	2								
憲法	通年	4								
民法	前後	2								
民法	前後	2								
民法	前後	2								
民法	前後	2								
経営史	前後	2								
生産管理	前後	2								
組織行動	前後	2								
研究開発マネジメント	前後	2								
消費者と広告	前後	2								
企業監査	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること
税務会計	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること
国際会計	前後	2								「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること
経営学特論	前後	2								テーマが異なれば複数履修可
会計学特論	前後	2								テーマが異なれば複数履修可
日本経営史	前後	2								
マーケティングの基礎	前後	2								
日本史概論	前後	2								
日本史概論	前後	2								
東洋史概論	前後	2								
東洋史概論	前後	2								
西洋史概論	前後	2								
西洋史概論	前後	2								
社会学A	前後	2								
社会学B	前後	2								
政治学概論	前後	2								
国際法の基礎	前後	2								
国際紛争処理法	前後	2								
国際政治A	前後	2								
国際政治B	前後	2								

専門
関連科目

5) フィールドワーク入門(企業)とフィールドスタディ入門(企業)は毎年いずれかが開講される。

6) フィールドワーク(企業)とフィールドスタディ(企業)は毎年いずれかが開講される。

で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

2. 経済ネットワークキング学科

経済ネットワークキング学科には、「地球環境と開発」「地域づくりと福祉」「情報メディア」の3コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

地球環境と 開発コース

このコースでは、日本を含む先進国と発展途上国が、地球という有限の環境の中でどのように共生してゆくのか、そして地球環境と調和した持続的発展をいかに実現していくのかをテーマとして学修・研究する。そのためには理論的な分析だけではなく、先進国の資源多消費型経済の与える影響や発展途上国が直面している諸問題を現場に即して考察し、さらにはボランティアの活躍ぶりや非政府組織（NGO）の役割と課題などについてもしっかり学ぶことが大切である。したがって、このコースでは、現場での体験学習や調査実習が重視される。

地域づくりと 福祉コース

このコースでは、人々の労働と生活の場である地域が直面している問題、地域経済の停滞や自治体財政の逼迫、高齢化などの問題について学び、地域独自の環境や諸条件を活かしながら豊かな生活を実現する地域づくりや福祉のあり方を探求する。財政難と産業構造の急速な変化に直面しながらも、新たな高齢者福祉や産業振興、雇用確保を目指す地域がある。このコースではそうした地域活性化の担い手となる能力の養成も目指してゆく。したがって、現場での体験学習や調査実習が重視される。

情報メディア コース

コンピュータおよびコンピュータ・ネットワークの普及した「情報ネットワーク社会」では、双方向型の情報メディアについての深い理解が求められる。つまり、受け手として無数の情報の中から有用な情報を検索・取得する能力と、送り手として価値のある情報コンテンツ（内容）を作成・発信する能力が不可欠となる。このコースでは、単にコンピュータや情報通信に関わる技術を学ぶばかりではなく、「情報ネットワーク社会」とは何かを理解し、その出現によって生み出される情報倫理などの新たな問題に対する深い洞察力を養成する。

カリキュラムの
構成と履修方法

専門教育科目	学部共通科目	必修科目	3科目6単位	64単位	所要単位を超えて修得した単位は、自由科目40単位に算入
		選択必修科目	2科目4単位 ^{注1)}		
	学科基礎科目	選択必修科目	3科目6単位		
	専門基本科目	コース別 選択必修科目	4科目8単位以上		次頁以下の表 ☆印科目の中より
	学部共通科目	自由科目	40単位 ^{注4)}		
	学科基礎科目				
専門基本科目					
専門応用科目 専門関連科目					

注1) 学部共通科目のうち「基礎演習 B」は入学年度の後期のみ履修できる（次頁カリキュラム表参照）。この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務づけている。従って学生が履修登録をする必要はなく、全ての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習 A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習 B」を履修できないが、「基礎演習 B」の登録は解除しない。そのため当該時限にほかの科目を履修登録することはできない上、評価は「R」となるので、「基礎演習 A」は極力修得すること。

注2) 次頁以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「サマーセミナー（演習Ⅲ）」までの演習科目は、募集期間に「演習Ⅰ」（編入生の場合は「演習Ⅱ」）に応募して合格した学生のみ受講できる。また合格した「演習Ⅰ」または「演習Ⅱ」の担当教員が開講する科目しか受講できない。教員によって開講形態は異なるが、開講する科目は年度ごとに一括して履修登録される。

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス			備 考
				1	2	3	4	地 球 環 境 と 開 発	地 域 と 福 祉	メ デ ィ ア 情 報	
学部共通科目	日 本 の 経 済	前後	2								3科目6単位(必修) 1年次での履修登録必須。「基礎演習A」を修得済であること。入学初年次のみ履修できる。 「コンピュータと情報A」を修得済であること このうち2科目4単位以上
	コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 A	前後	2								
	基 礎 演 習 A	前後	2								
	基 礎 演 習 B	後期	2								
	コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 B	前後	2								
	情 報 シ ス テ ム の 基 礎	前後	2								
	会 社 入 門	前後	2								
世 界 の 経 済	前後	2									
学科基礎科目	調 査 研 究 入 門	前後	2								このうち3科目6単位以上
	環 境 ・ 開 発 問 題 入 門	前後	2								
	環 境 経 済 の 基 礎	前後	2								
	社 会 保 障 の 基 礎	前後	2								
	ス タ デ ィ ア	集中	2								
	地 域 社 会 問 題 入 門	前後	2								
	情 報 シ ス テ ム	前後	2								
情 報 メ デ ィ ア 問 題 入 門	前後	2									
専門基本科目	ア ン ケ ー ト 調 査 入 門	前後	2								「アンケート調査入門」を修得済であること 「フィールドワーク入門(環境・開発)」を修得済であること 「フィールドスタディ入門(環境・開発)」を修得済であること テーマが異なれば複数履修可 を付してあるコース別指定科目より 4科目8単位以上を修得すること 「フィールドワーク入門(地域社会)」を修得済であること 「フィールドスタディ入門(地域社会)」を修得済であること テーマが異なれば複数履修可 「財政の基礎」を修得済であることが望ましい 「社会保障の基礎」も修得済であることが望ましい (データベース)「コンピュータと情報A・B」を修得済であること (ネットワークの活用)「コンピュータと情報A・B」を修得済であること (プレゼンテーション技法)「コンピュータと情報A・B」を修得済であること (コンテンツ制作演習)「コンピュータと情報A・B」 及び「マルチメディア表現と技術」を修得済であること 「コンピュータと情報A」を修得済であること 「コンピュータと情報A」を修得済であること 「コンピュータと情報A」を修得済であること
	ア ン ケ ー ト 調 査	通年	4								
	消 費 者 主 権 の 経 済 学	前後	2								
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 (環 境 ・ 開 発) 1	前後	2								
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク (環 境 ・ 開 発) 2	通年	4								
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 (環 境 ・ 開 発) 1	前後	2								
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ (環 境 ・ 開 発) 2	通年	6								
	環 境 ・ 開 発 問 題	前後	2								
	環 境 と 経 済	前後	2								
	開 発 経 済	前後	2								
	企 業 活 動 と 環 境	前後	2								
	N G O ・ N P O と 社 会	前後	2								
	国 際 協 力 と 援 助	前後	2								
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 (地 域 社 会) 3	前後	2								
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク (地 域 社 会) 4	通年	4								
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 (地 域 社 会) 3	前後	2								
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ (地 域 社 会) 4	通年	6								
	地 域 社 会 問 題	前後	2								
	現 代 日 本 経 済	前後	2								
	地 域 と 経 済	前後	2								
	地 域 と 行 財 政	前後	2								
	ま ち づ く り と 市 民	前後	2								
	少 子 高 齢 社 会 と 社 会 保 障	前後	2								
	医 療 の 経 済	前後	2								
	コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C	前後	2								
	コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C	前後	2								
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C	前後	2									
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C	前後	2									
情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク	前後	2									
マ ル チ メ デ ィ ア 表 現 と 技 術	前後	2									
情 報 処 理 の 基 礎	前後	2									
ネ ッ ト ワ ー ク 型 組 織	前後	2									
情 報 倫 理 と セ キ ュ リ テ ィ	前後	2									
情 報 社 会 と 職 業	前後	2									
専門応用科目	情 報 メ デ ィ ア 問 題 演 習	前後	2								「情報メディア問題入門」を修得済であること 「財政の基礎」を修得済であることが望ましい
	法 情 報	前後	2								
	経 済 統 計 の 見 方	前後	2								
	公 共 部 門 と 財 政	前後	2								
	雇 用 と 社 会 政 策	前後	2								
	農 業 経 済	前後	2								

- 1) フィールドワーク入門(環境・開発)とフィールドスタディ入門(環境・開発)は毎年いずれかが開講される。
- 2) フィールドワーク(環境・開発)とフィールドスタディ(環境・開発)は毎年いずれかが開講される。
- 3) フィールドワーク入門(地域社会)とフィールドスタディ入門(地域社会)は毎年いずれかが開講される。
- 4) フィールドワーク(地域社会)とフィールドスタディ(地域社会)は毎年いずれかが開講される。

次ページに続く

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス			備 考	
				1	2	3	4	地 球 環 境 と 開 発	地 域 と 福 祉	メ デ ィ ア 情 報		
専 門 応 用 科 目	地 方 自 治	前 後	2									
	地 方 自 治	前 後	2									
	消 費 情 報 教 育	前 後	2									
	コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 D	前 後	2									(ネットワーク管理とセキュリティ)「コンピュータと情報A・B」及び「情報通信ネットワーク」を修得済であること
	コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 D	前 後	2									(シミュレーション・グラフィックス)「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 技 法	前 後	2									「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	前 後	2									「コンピュータと情報A・B」と「情報処理の基礎」及び「プログラミング技法」を修得済であること
	福 祉 社 会 と 情 報	前 後	2									
	専 門 資 格 取 得 指 導	前 後	2									
	演 習	後 期	2									テーマが異なれば複数履修可
	演 習	通 年	4									「演習」を修得済であること
	演 習 (4)	通 年	4									「演習」を修得済であること
	演 習 (2)	後 期	2									「演習」を修得済であること
	演 習	後 期	2									「演習」を登録していること
	サ マ ー セ ミ ナ ー (演 習)	集 中	2									「演習」を登録していること
	ス プ リ ン グ セ ミ ナ ー (演 習)	集 中	2									「演習」を登録していること
サ マ ー セ ミ ナ ー (演 習)	集 中	2									「演習」を登録していること	
ス プ リ ン グ セ ミ ナ ー (演 習)	集 中	2									「演習」を登録していること	
サ マ ー セ ミ ナ ー (演 習)	集 中	2									「演習」を登録していること	
ベ ン チ ャ ー ビ ジ ネ ス	前 後	2										
日 本 の 中 小 企 業	前 後	2										
公 会 計	前 後	2										
日 本 経 済 と 政 策	前 後	2										
専 門 関 連 科 目	政 治 学 概 論	前 後	2									
	国 際 法 の 基 礎	前 後	2									
	国 際 紛 争 処 理 法	前 後	2									
	国 際 政 治 A	前 後	2									
	国 際 政 治 B	前 後	2									
	統 計 学	前 後	2									「経済統計の見方」を修得済であること
	経 済 英 語	前 後	2									テーマが異なれば複数履修可
	近 代 経 済 学 の 歴 史	前 後	2									
	社 会 経 済 学 入 門	前 後	2									
	経 済 理 論 入 門	前 後	2									
	経 済 学 史	前 後	2									
	経 済 史 の 基 礎	前 後	2									
	財 政 の 基 礎	前 後	2									
	金 融 の 基 礎	前 後	2									
	経 済 原 論	前 後	2									
	マ ク ロ 経 済 学	前 後	2									「経済理論入門」を修得済であることが望ましい
	ミ ク ロ 経 済 学	前 後	2									「経済理論入門」を修得済であることが望ましい
	計 量 経 済 学	前 後	2									「経済統計の見方」を修得済であること
	国 際 経 済	前 後	2									「世界の経済」修得済であることが望ましい
	地 域 経 済 統 合	前 後	2									「世界の経済」修得済であることが望ましい
	産 業 組 織 論	前 後	2									
	日 本 の 金 融 シ ス テ ム	前 後	2									「金融の基礎」修得済であることが望ましい
	国 際 通 貨 と 国 際 金 融	前 後	2									「金融の基礎」修得済であることが望ましい
	ア メ リ カ 経 済	前 後	2									
	E U 経 済	前 後	2									
	ア ジ ア 経 済	前 後	2									
	日 本 経 済 史	前 後	2									
	近 代 日 本 経 済 史	前 後	2									
	西 洋 経 済 史	前 後	2									
	近 代 西 洋 経 済 史	前 後	2									
経 済 学 特 論	前 後	2									テーマが異なれば複数履修可	
日 本 経 済 特 別 演 習	前 後	2										
金 融 シ ス テ ム 特 別 演 習	前 後	2										
国 際 経 済 特 別 演 習	前 後	2										

次ページに続く

授業科目	開講	単位	開講学年				コース			備考
			1	2	3	4	地球環境と開発	地域と福祉	メディア情報	
経営理論入門	前後	2								
現代の企業経営	前後	2								
簿記と財務報告A	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること
簿記と財務報告B	前後	2								
財務会計	前後	2								
経営情報の開示	前後	2								
企業問題入門	前後	2								
経営管理	前後	2								
経営戦略の基礎	前後	2								
経営組織	前後	2								
国際経営	前後	2								
企業財務の基礎	前後	2								
人事管理	前後	2								
マーケティング	前後	2								「マーケティングの基礎」修得済であることが望ましい
コーポレート・コミュニケーション	前後	2								
流通システム	前後	2								
財務諸表分析	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること
応用財務会計	前後	2								
原価計算	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること
予算管理	前後	2								
コンピュータ会計	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること 「フィールドワーク入門(企業)」を修得済であること
フィールドワーク入門(企業)5)	前後	2								
フィールドワーク(企業)6)	通年	4								
フィールドスタディ入門(企業)5)	前後	2								
フィールドスタディ(企業)6)	通年	6								「フィールドスタディ入門(企業)」を修得済であること
経営特別演習	前後	2								
会計特別演習	前後	2								
職業指導	通年	4								
憲法	通年	4								
民法	前後	2								
民法	前後	2								
商法	前後	2								
商法	前後	2								
証券投資分析	前後	2								
リスクと保険	前後	2								
社会経済思想	前後	2								
日本の経済思想	前後	2								
経営史	前後	2								
生産管理	前後	2								
組織行動	前後	2								
研究開発マネジメント	前後	2								
消費者と広告	前後	2								
企業監査	前後	2								「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること
税務会計	前後	2								
国際会計	前後	2								「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること テーマが異なれば複数履修可 テーマが異なれば複数履修可
経営学特論	前後	2								
会計学特論	前後	2								
日本経営史	前後	2								
マーケティングの基礎	前後	2								
日本史概論	前後	2								
日本史概論	前後	2								
東洋史概論	前後	2								
東洋史概論	前後	2								
西洋史概論	前後	2								
西洋史概論	前後	2								
社会学A	前後	2								
社会学B	前後	2								

専門関連科目

5) フィールドワーク入門(企業)とフィールドスタディ入門(企業)は毎年いずれかが開講される。

6) フィールドワーク(企業)とフィールドスタディ(企業)は毎年いずれかが開講される。

で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

3. 経営学 科

経営学科には、「マネジメント」「会計情報」の2コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

マネジメント コース

21世紀を迎え、日本の企業は様々な困難に直面し、変容を迫られていると言われる。いわゆる「日本的経営」の見直しである。このコースでは、経済学の基礎的な知識も踏まえながら、そうした企業を含むいろいろな組織の経営について多面的に学修・研究する。組織を経営するには、ヒト＝人材、カネ＝資金、モノ＝原材料や諸設備、情報など、いわゆる経営資源を必要とするが、そうした資源をいかに効率的に調達し、有効に活用するかが問われる。つまり、経営全般にわたる知識の修得が求められるのである。なお、このコースでは、経営の現場での声に耳を傾けることや調査実習なども重視される。

会計情報 コース

「会計」とは、企業（やその他の組織）の財政状態や経営成績を、外部の人々に対して明瞭な形で伝達・報告するまでの一連の手続きのことである。たとえばある企業に資金を提供しようとする人にとって、その企業の経営状態を正確に知ることは不可欠である。このコースでは、そうした情報を集約した報告資料の背景にある理論や作成方法、さらに分析方法について学修・研究する。なお、このコースでの学修・研究には1年次からの系統的な科目履修が求められるので注意すること（「簿記と財務報告A」は経済学部に通じた基礎科目であるが、中でもこのコースにとっては最重要の基本科目である）。

カリキュラムの 構成と履修方法

専門教育科目	学部共通科目	必修科目	3科目6単位	64 単 位	所要単位を超えて修得した単位は、自由科目36単位に算入
		選択必修科目	2科目4単位 ^{注1)}		
	学科基礎科目	選択必修科目	5科目10単位		
	専門基本科目	コース別 選択必修科目	4科目8単位以上		
	学部共通科目	自由科目	36単位 ^{注2)}		
	学科基礎科目				
専門基本科目					
専門応用科目					
専門関連科目					

注1) 学部共通科目のうち「基礎演習B」は入学年度の後期のみ履修できる。（次頁カリキュラム表参照。）この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務づけている。従って学生が履修登録をする必要はなく、全ての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習B」を履修できないが、「基礎演習B」の登録は解除しない。そのため当該時限にほかの科目を履修登録することはできない上、評価は「R」となるので、「基礎演習A」は極力修得すること。

注2) 次頁以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「サマーセミナー（演習Ⅲ）」までの演習科目は、募集期間に「演習Ⅰ」（編入生の場合は「演習Ⅱ」）に応募して合格した学生のみ受講できる。また合格した「演習Ⅰ」または「演習Ⅱ」の担当教員が開講する科目しか受講できない。教員によって開講形態は異なるが、開講する科目は年度ごと一括して履修登録される。

	授業科目	開講	単位	開講学年				コース		備考
				1	2	3	4	マ ナ ジ	情 報 計	
学部共通科目	日本の経済	前後	2							3科目6単位(必修) 1年次での履修登録必須。「基礎演習A」修得済であること。入学初年次のみ履修できる。 「コンピュータと情報A」を修得済であること このうち2科目4単位以上
	コンピュータと情報A	前後	2							
	基礎演習A	前後	2							
	基礎演習B	後期	2							
	コンピュータと情報B	前後	2							
	情報システムの基礎	前後	2							
	世界の経済	前後	2							
会社入門	前後	2								
学科基礎科目	経営理論入門	前後	2							「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること このうち5科目10単位以上
	簿記と財務報告A	前後	2							
	簿記と財務報告B	前後	2							
	現代の企業経営	前後	2							
	財務会計	前後	2							
	経営情報の開示	前後	2							
	調査研究入門	前後	2							
	企業問題入門	前後	2							
	日本経営史	前後	2							
	企業財務の基礎	前後	2							
経営戦略の基礎	前後	2								
マーケティングの基礎	前後	2								
専門基本科目	経営管理	前後	2							「マーケティングの基礎」を修得済であることが望ましい を付してあるコース別指定科目より 4科目8単位以上を修得すること 「フィールドワーク入門(企業)」を修得済であること 「フィールドスタディ入門(企業)」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること
	経営組織	前後	2							
	国際経営	前後	2							
	マーケティング	前後	2							
	経営史	前後	2							
	人事管理	前後	2							
	生産管理	前後	2							
	フィールドワーク入門(企業)1	前後	2							
	フィールドワーク(企業)2	通年	4							
	フィールドスタディ入門(企業)1	前後	2							
	フィールドスタディ(企業)2	通年	6							
	予算管理	前後	2							
	原価計算	前後	2							
	公会計	前後	2							
	応用財務会計	前後	2							
税務会計	前後	2								
企業監査	前後	2								
国際会計	前後	2								
専門応用科目	組織行動	前後	2							「簿記と財務報告A」を修得済であること 「簿記と財務報告A」を修得済であること 「アンケート調査入門」を修得済であること テーマが異なれば複数履修可 テーマが異なれば複数履修可
	ベンチャービジネス	前後	2							
	日本の中小企業	前後	2							
	研究開発マネジメント	前後	2							
	流通システム	前後	2							
	コーポレート・コミュニケーション	前後	2							
	消費者と広告	前後	2							
	財務諸表分析	前後	2							
	コンピュータ会計	前後	2							
	証券投資分析	前後	2							
	スタディツアー	集中	2							
	アンケート調査	通年	4							
	経営学特論	前後	2							
	会計学特論	前後	2							
	経営特別演習	前後	2							
会計特別演習	前後	2								
商法	前後	2								
商法	前後	2								
リスクと保険	前後	2								
財政の基礎	前後	2								

- 1) フィールドワーク入門(企業)とフィールドスタディ入門(企業)は毎年いずれかが開講される。
2) フィールドワーク(企業)とフィールドスタディ(企業)は毎年いずれかが開講される。

次ページに続く

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス		備 考
				1	2	3	4	メ マ ン ジ	情 会 報 計	
専 門 応 用 科 目	経 済 理 論 入 門	前後	2							「経済理論入門」を修得済であることが望ましい 「経済理論入門」を修得済であることが望ましい 「経済統計の見方」を修得済であること
	社 会 経 済 学 入 門	前後	2							
	経 済 史 の 基 礎	前後	2							
	経 済 統 計 の 見 方	前後	2							
	統 計 学	前後	2							
	社 会 保 障 の 基 礎	前後	2							
	金 融 の 基 礎	前後	2							
	経 済 原 論	前後	2							
	マ ク ロ 経 済 学	前後	2							
	ミ ク ロ 経 済 学	前後	2							
	計 量 経 済 学	前後	2							
	現 代 日 本 経 済	前後	2							
	日 本 経 済 と 政 策	前後	2							
	ア ン ケ ー ト 調 査 入 門	前後	2							
	日 本 経 済 特 別 演 習	前後	2							
	情 報 シ ス テ ム	前後	2							
	演 習	後期	2							
演 習	通年	4								
演 習 (4)	通年	4								
演 習 (2)	後期	2								
演 習	後期	2								
サ マ ー セ ミ ナ ー (演 習)	集中	2								
ス プ リ ン グ セ ミ ナ ー (演 習)	集中	2								
サ マ ー セ ミ ナ ー (演 習)	集中	2								
ス プ リ ン グ セ ミ ナ ー (演 習)	集中	2								
サ マ ー セ ミ ナ ー (演 習)	集中	2								
専 門 関 連 科 目	国 際 経 済	前後	2							「世界の経済」を修得済であることが望ましい 「世界の経済」を修得済であることが望ましい 「財政の基礎」を修得済であることが望ましい 「金融の基礎」を修得済であることが望ましい 「金融の基礎」を修得済であることが望ましい 「社会保障の基礎」を修得済であることが望ましい 「財政の基礎」を修得済であることが望ましい テーマが異なれば複数履修可 テーマが異なれば複数履修可
	地 域 経 済 統 合	前後	2							
	産 業 組 織 論	前後	2							
	公 共 部 門 と 財 政	前後	2							
	日 本 経 済 史	前後	2							
	近 代 日 本 経 済 史	前後	2							
	西 洋 経 済 史	前後	2							
	近 代 西 洋 経 済 史	前後	2							
	開 発 経 済	前後	2							
	雇 用 と 社 会 政 策	前後	2							
	労 働 経 済	前後	2							
	日 本 の 金 融 シ ス テ ム	前後	2							
	国 際 通 貨 と 国 際 金 融	前後	2							
	少 子 高 齢 社 会 と 社 会 保 障	前後	2							
	環 境 経 済 の 基 礎	前後	2							
	環 境 と 経 済	前後	2							
	企 業 活 動 と 環 境	前後	2							
	地 域 と 経 済	前後	2							
	地 域 と 行 財 政	前後	2							
	N G O ・ N P O と 社 会	前後	2							
	ま ち づ く り と 市 民	前後	2							
	国 際 協 力 と 援 助	前後	2							
	医 療 の 経 済	前後	2							
	農 業 経 済	前後	2							
	環 境 ・ 開 発 問 題 入 門	前後	2							
環 境 ・ 開 発 問 題	前後	2								
地 域 社 会 問 題 入 門	前後	2								
地 域 社 会 問 題	前後	2								
ア メ リ カ 経 済	前後	2								
E U 経 済	前後	2								
ア ジ ア 経 済	前後	2								
経 済 学 史	前後	2								
近 代 経 済 学 の 歴 史	前後	2								

次ページに続く

授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス		備 考
			1	2	3	4	メ マ ン ジ	情 会 報 計	
日 本 の 経 済 思 想	前 後	2							
社 会 経 済 思 想	前 後	2							
福 祉 社 会 と 情 報	前 後	2							
地 方 自 治	前 後	2							
地 方 自 治	前 後	2							
日 本 史 概 論	前 後	2							
日 本 史 概 論	前 後	2							
東 洋 史 概 論	前 後	2							
東 洋 史 概 論	前 後	2							
西 洋 史 概 論	前 後	2							
西 洋 史 概 論	前 後	2							
社 会 学 A	前 後	2							
社 会 学 B	前 後	2							
政 治 学 概 論	前 後	2							
国 際 法 の 基 礎	前 後	2							
国 際 紛 争 処 理 法	前 後	2							
国 際 政 治 A	前 後	2							
国 際 政 治 B	前 後	2							
憲 法	通 年	4							
民 法	前 後	2							
民 法	前 後	2							
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C	前 後	2							(データベース)「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C	前 後	2							(ネットワークの活用)「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C	前 後	2							(プレゼンテーション技法)「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C	前 後	2							(コンテンツ制作演習)「コンピュータと情報A・B」 及び「マルチメディア表現と技術」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 D	前 後	2							(ネットワーク管理とセキュリティ)「コンピュータと情報A・B」 及び「情報通信ネットワーク」を修得済であること
マ ル チ メ デ ィ ア 表 現 と 技 術	前 後	2							「コンピュータと情報A」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 D	前 後	2							(シミュレーション・グラフィックス)「コンピュータと情報A・B」 及び「情報処理の基礎」を修得済であること
プ ロ グ ラ ミ ン グ 技 法	前 後	2							「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	前 後	2							「コンピュータと情報A・B」と「情報処理の基礎」及び「プログラミング技法」を修得済であること
情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク	前 後	2							「コンピュータと情報A」を修得済であること
情 報 社 会 と 職 業	前 後	2							
情 報 処 理 の 基 礎	前 後	2							「コンピュータと情報A」を修得済であること
情 報 倫 理 と セ キ ュ リ テ ィ	前 後	2							
法 情 報 学	前 後	2							
情 報 メ デ ィ ア 問 題 入 門	前 後	2							
情 報 メ デ ィ ア 問 題 演 習	前 後	2							「情報メディア問題入門」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 (環 境 ・ 開 発) 3	前 後	2							
フ ィ ー ル ド ワ ー ク (環 境 ・ 開 発) 4	通 年	4							「フィールドワーク入門(環境・開発)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 (環 境 ・ 開 発) 3	前 後	2							
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ (環 境 ・ 開 発) 4	通 年	6							「フィールドスタディ入門(環境・開発)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 (地 域 社 会) 5	前 後	2							
フ ィ ー ル ド ワ ー ク (地 域 社 会) 6	通 年	4							「フィールドワーク入門(地域社会)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 (地 域 社 会) 5	前 後	2							
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ (地 域 社 会) 6	通 年	6							「フィールドスタディ入門(地域社会)」を修得済であること
金 融 シ ス テ ム 特 別 演 習	前 後	2							
国 際 経 済 特 別 演 習	前 後	2							
経 済 学 特 論	前 後	2							テーマが異なれば複数履修可
ネ ッ ト ワ ー ク 型 組 織	前 後	2							
消 費 者 主 権 の 経 済 学	前 後	2							
消 費 情 報 教 育	前 後	2							
経 済 英 語	前 後	2							テーマが異なれば複数履修可
専 門 資 格 取 得 指 導	前 後	2							テーマが異なれば複数履修可
職 業 指 導	通 年	4							

専門関連科目

3) フィールドワーク入門(環境・開発)とフィールドスタディ入門(環境・開発)は毎年いずれかが開講される。

4) フィールドワーク(環境・開発)とフィールドスタディ(環境・開発)は毎年いずれかが開講される。

5) フィールドワーク入門(地域社会)とフィールドスタディ入門(地域社会)は毎年いずれかが開講される。

6) フィールドワーク(地域社会)とフィールドスタディ(地域社会)は毎年いずれかが開講される。

で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。